

しば子先生の

ミ

ニ

ミ

ニ

芝生教室

第65回 ホモ？



先生：肥料の流通に関する問題点は理解できた？

生徒：はい、アメリカの肥料登録制度とは違って制度のグレーな部分が正しい商品の流通の足かせとなっているようですね・・

先生：ほんとに問題なのよ・・・・・ところで『化成肥料』という言葉が出て来たけど意味は分かっているのかしら？

生徒：・・「化成肥料」ですよ・・サンパチ肥料とか無機肥料の事ですよね・・

先生：あらあら、すごく基本的なことを説明してなかったみたいね・・これは失敗だわ・・

生徒：すみません不勉強で・・

先生：日本の肥料用語は戦後の肥料の流通事情が原因で、わかりにくいものになっている側面もあるわね・・

生徒：そうなんですか・・

先生：戦後の農業用の“無機肥料”の多くが「化成肥料」だったので、化成肥料＝無機肥料のようなイメージになってしまっているかもしれないわね・・

生徒：私もそう思っていました・・

先生：確かに化成・・“化学的に成る”肥料だから無機のイメージね・・

生徒：まさに化成ですね・・

先生：じゃあ化成肥料の反対は何か知ってる？

生徒：化成肥料の反対ですか！？

先生：まあ反対と言う言葉が適当かどうかかわからないけど、化成肥料の対になるのは『配合肥料』・・

生徒：「配合肥料」・・聞いたことがあります・・

先生：配合肥料は英語でバルクブレンド (Bulk Blend) と言って、略して BB 肥料ともいうわ・・バルクの意味は「ばら積み」・・梱包してない大量の肥料と言う意味・・図の例の様に配合肥料は、尿素とかリン安とかの別々の肥料成分のばら積みの肥料を混ぜ合わせて一つの配合肥料として作られているのね・・

生徒：BB 肥料ってそういう意味だったんですね・・

先生：そして化成肥料は英語でホモジニアス (homogeneous) っ

て言うのよ・・

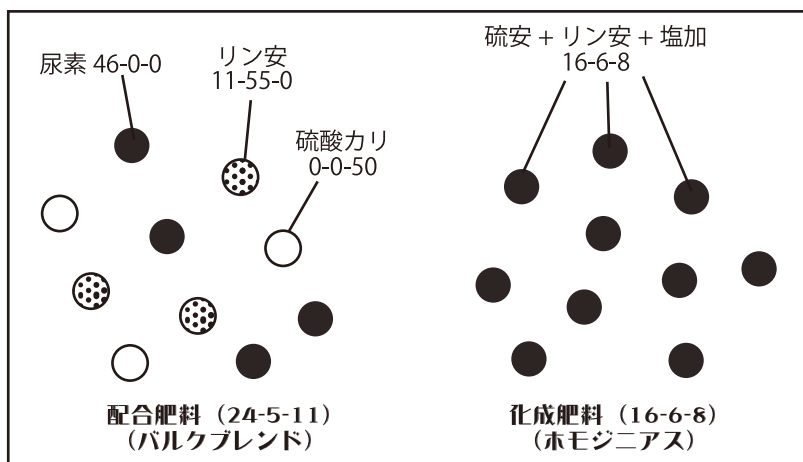
生徒：ホモ・・？！

先生：そう、ホモよ・・ホモとはギリシャ語で「同じ」という意味で、ホモジニアスは「均質な、同質な」という意味なのよ・・

生徒：そういう意味なんですか・・ホモが・・

先生：ホモジニアスね・・

生徒：でもその違いは肥料としてどういう違いになるのですか？



先生：どちらにもいい所と悪いところがあるわ・・ホモジニアス肥料は肥料袋の中の全ての粒がほぼ同じ肥料成分を持っているから多少少ない使用量で使っても色ムラや成分のバラつきが起これにくいわね・・でも粒状に成型する前に成分を均一に混ぜ合わせなければいけないから成分を簡単に変えられないわ・・それに対してバルクブレンド肥料はあまり少なく播くと成分のバラつきが出てしまう・・でもそれぞれの成分の原料の混ぜる比率や種類を変えることで簡単に製品の肥料成分を変えることができるので、少ロットで違う成分の肥料を作るのには最適ね・・また樹脂被覆肥料やメチレン尿素などの化学的に練り込んで混ぜ合わせることが難しい肥料を作る時はバルクブレンドは最適だわね・・近頃は菜種カスなどの有機物を化成肥料に少量入れて「有機化成肥料」なんて言うものもあるから、化成肥料＝無機肥料ではなくなっているわね・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・
shibako@hugh-enterprise.co.jp

